

福岡県教育委員会では、児童生徒に国語、算数・数学における基礎基本を含む活用力（基礎的・基本的な知識・技能及び思考力、判断力、表現力等）を育むとともに、地域間の学力向上の取組の差を解消することを目的として、平成25年度から小学校5年生～中学校3年生向けの国語、算数・数学の教材集を作成・配布しました。各学校においては、教材集を授業等で繰り返し活用し、取組の改善が図られてきました。

また、平成28年度からは、学力向上に係る検証改善サイクルを小学校中学年から一層計画的に推進するために、小学校4年生向けの教材集を新たに作成してきました。

この度、中学校学習指導要領（平成29年告示）の全面実施を受けて、教材集の改訂を行いました。

各学校では、授業の中だけでなく、朝の学習の時間や家庭学習等における補充・発展問題として活用していただいているところですが、更に、各問題の特質に応じて、先生方の授業づくりや校内研修の際の参考資料としても活用され、基礎基本を含む活用力の向上に役立てていただくことをお願いします。

令和5年3月

福岡県教育委員会

# 中学校

# 国語



追補版

基礎基本を含む活用力を育成する教材集

## 目次

1	1 単位時間程度で活用する教材（大問）	
1	目的に応じて資料や機器などを効果的に活用して話す。 （話すこと・聞くこと）	29
2	多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書く。 （書くこと）	31
3	例示や描写の効果などを考え、内容の理解に役立てる。 （読むこと）	33
大問①～③の出題の趣旨・正答について		35～37
2	短い時間で活用する教材（小問）	
1	話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較する。 （話すこと・聞くこと）	38
2	相手の立場や考えを尊重しながら話し合い、自分の考えを広げる。 （話すこと・聞くこと）	39
3	多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書く。 （書くこと）	40
4	書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、読みやすく分かりやすい文章にする。 （書くこと）	41
5	登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てる。 （読むこと）	42
6	説明や評論などの文章を読み、内容や表現の仕方について自分の考えを述べる。 （読むこと）	43

小問①～⑥の正答について

44～45

第二学年「めあて」【目的に応じて資料や機器などを効果的に活用して話す。

( ) (組) ( ) (番号前) ( )

Ⅰ Z市立第一中学校では、来年度入学予定の小学生に、二年生が学校の紹介をしています。二年生の高村さんの班は、校歌を紹介することになりました。そこで、歌詞の内容をよく知ってもらうために、資料を用意し、どの資料を選ぶべきかについて班で話し合うことにしました。次の校歌、資料の候補、班での話し合いの一部を読んで、あとの問いに答えなさい。

第一中学校 校歌

広がる大地に 流れる大河  
そびえる山の ふもとにて  
光あふれる わが一中  
桜の大樹に 見守られ  
希望を胸に 学び励めよ  
一中 一中 はばたくわれら

資料の候補

- ・中学校から見えるZ平野とZ川の写真
- ・中学校から見えるZ山の写真
- ・Z市全景写真
- ・太陽に照らされた中学校の正門の写真
- ・Z平野の面積の広さを示すグラフ
- ・学校のシンボルである校門横の桜の木の写真
- ・校舎の写真
- ・授業中の写真
- ・飛ぶ鳥のイラスト

班での話し合いの一部

三島さん 「広がる大地」や「大河」について、実際にどのぐらい広いのか、正確なデータを数字やグラフで示すといいと思います。だから、広さを示すグラフを選ぶべきです。

遠山さん 小学生に校歌を知ってもらうのだから、実際の広さを示す必要はないと思います。それよりも川や山の写真を見せたほうが、最初の二行で歌われている内容が伝わるのではないのでしょうか。

岡本さん 「大地」や「大河」と「一中」の実際の位置関係が、この歌詞ではよくわかりません。写真を使うんだったら、位置関係を正確に示すために、全景の写真を使うといいと思います。

江藤さん 位置関係の正確さは、校歌の説明には必要ないと思います。それより一中の校歌なのだから、これが一中だというイメージを持ってもらいたいのので、校舎の写真がいます。

木村さん 最初の二行もそうだし、四行目の桜の木も、実際の写真を見せたほうが、学校から見えるまわりの自然を小学生に一目で納得してもらえるのではないのでしょうか。

太田さん わたしは江藤さんに賛成です。歌詞も詩みたいに、イメージを思い浮かべて味わってもらいたいです。だから、三行目で正門の写真、六行目で飛ぶ鳥のイラストを見せたら、「光あふれる」や「はばたくわれら」の様子を思い浮かべてもらえるとと思います。

高村さん(司会) みんなの意見を整理すると、資料を使って伝えたいところが三つに分かれていて、それによって必要だと思う資料も違っているようです。三島さんと岡本さんが資料で伝えたいことは「A」、「遠山さんと木村さんは「B」、「江藤さんと太田さんの目的は「C」

ということのようですね。今回は発表時間も短いので、資料を使って伝えたいことを一つにして資料を選んだほうがいいと思いますが、意見はありませんか。

問1 司会の高村さんは、資料を使って伝えたいことについて、班のメンバーの意見を三つに整理しています。あなたならどのような内容で整理しますか。空欄A、B、Cに入る内容を考えて書きなさい。

A	
B	
C	

問2 司会の高村さんの求めに応じて意見を述べることにしました。あなたなら、どのような意見を述べますか。資料を使って伝えたいことを一つ挙げ、そのことを伝えたい理由を書きなさい。ただし、資料の候補の中から資料を二つ以上挙げて書くこと。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

《大切なこと》

- 目的に応じて、効果的な資料も変わってくる。資料を使う際には、目的をよく考える。
- 複数の人の発言の共通点や相違点ちがひを探して、意見を整理する。

第二学年【めあて】多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書く。

( ) (組) ( ) (番) (名前) ( )

② 最近、自転車と歩行者の事故で、自転車側に高額の損害賠償の支払いが命じられる判決が相次いで出されています。このことを受け、二〇一四年二月から三月にかけて、多くの新聞が社説で自転車事故について取り上げました。次の文章は、そのうちの二つです。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。(句読点等は字数に数えること。)

自転車事故／危険防止へ総合的対策を (神戸新聞二〇一四年二月七日)

健康志向やエコブームで自転車利用は増えているが、歩行者が被害者となる事故が後を絶たず、高額賠償判決が相次いでいる。

スポーツタイプの自転車にはねられて主婦が死亡した事故で、東京地裁が加害者の男性に四七〇〇万円の損害賠償の支払いを命じた。

昨年七月には小学生が起こした人身事故で神戸地裁が母親に九五〇万円の支払いを命じている。(中略)

自動車の場合には自賠責保険の加入が義務づけられているが、自転車の保険は任意で、未加入の利用者が多い。高額判決の影響などで保険への関心はようやく高まってきた。保険加入を助成する自治体や学校もある。加入を促す手だてがもっと必要だろう。

社会全体で自転車の事故や被害防止に当たらねばならない。

警察庁は悪質で危険な運転への取り締まりを強化している。昨年十二月に施行された改正道路交通法は、自転車が道路の路側帯を走る場合、車道と同じ左側通行に統一した。ブレーキに不備がある自転車を警察官が発見した場合は、応急措置や乗車禁止を命令できるようにになった。悪質な違反を繰り返すと講習が義務づけられることになる。

こうしたルールの明確化や指導の強化は必要だが、自転車の安全確保策も欠かせない。自転車は自動車との事故が大半を占める。警察庁は自転車の車道通行の原則徹底を図っているが、「車道を走るのは怖い」という声

は根強い。

自転車専用道や自転車レーンの整備は遅れており、安心して走れる状況ではない。規制を強化するからには整備を急がねばならない。

歩行者にも自転車にも安全で便利なまちづくりを進めていく。そうした総合的な対策が要る。

注 自賠責保険は自動車やオートバイが、事故で与えた損害を保障するために加入しなければならない保険。

【自転車事故】責任も危険性も重大だ (高知新聞 二〇一四年三月四日)

環境や健康によいと近年見直されている自転車だが、歩行者との接触事故で相手を死亡させたり大けがをさせたりして、高額賠償を命じられる判決が相次いでいる。(中略)

「自転車だから」と甘く見てはいけない。過失が重ければ当然、事故の責任も厳しく問われるべきである。責任も危険性も車と変わらないということを社会全体で確認したい。

そこで、万一の備えとして事故賠償の保険がある。

自賠責保険への加入が義務付けられている車と違って、自転車の場合には保険加入は任意のため、なかなか普及しない。これらの判決を受けて、保険への関心が高まってきた今こそ、加入を促したい。

悲惨な事故を減らすには、安全運転に徹することが必要なのは言うまでもない。昨年十二月に改正道交法が施行されたが、どれほどの人がその内容を知っているだろうか。

自転車に関して言えば、道路の路側帯を走る場合、車道と同じ左側通行に統一した。ブレーキに不備がある自転車の運転者に対し、警察官が応急措置や乗車禁止を命令できるようにもなった。

昨年発生した自転車と歩行者との事故は約二六〇〇件で、二〇〇〇年に

比べ七〇〇件以上増えている。交通ルールを徹底し、一人一人が安全への意識を高めるようにしたい。

問1 それぞれの社説で挙げられている対策について、次のように表に箇条書きでまとめました。対策として述べられていることを空欄に書き入れ、表を完成させなさい。ただし、それぞれの社説に共通していることと異なっていることの関係を、記号などを用いて示すこと。

神戸新聞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保険への加入</li> <li>・規制強化</li> </ul>
高知新聞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保険への加入</li> <li>・交通ルールの徹底</li> </ul>

問2 自転車の事故や被害を減らすためには、どのような対策が重要だと考えますか。自分の体験を踏まえて、考えたことを百五十文字以内で書きなさい。


《大切なこと》

- 新聞の社説は、その新聞社の意見や主張を述べた論説文である。
- 同じ題材を取り上げても、新聞の立場によって強調する点や主張は変わってくる。共通する点、異なっている点を読み取ろう。
- 社説を参考にして、自分の立場を決め、自分自身の意見をまとめてみよう。

第二学年「めあて」例示や描写の効果などを考え、内容の理解に役立てる。

( ) (組) ( ) (番 名前) ( )

3 次の文章は、太宰治作「富嶽百景」の一部です。これを読んで、あと  
の問いに答えなさい。(句読点等は字数に数えること。)

富士の頂角、ひろしげ 広重の富士は八十五度、ぶんちやう 文晁の富士も八十四度くらい、けれども、陸軍の実測図によって東西及南北に断面図を作ってみると、東西縦断は頂角、百二十四度となり、南北は百十七度である。広重、文晁に限らず、たいていの絵の富士は、えいかく 鋭角である。いただきが、細く、高く、きや 華奢である。北斎にいたっては、その頂角、ほとんど三十度くらい、エツフェル鉄塔のような富士をさえ描いている。けれども、実際の富士は、どんかく 鈍角も鈍角、のろくさと拡がり、東西、百二十四度、南北は百十七度、決して、しやうぼつ 秀抜の、すらと高い山ではない。たとえば私が、印度かどこかの国から、とつぜん 突然、わし 驚にさらわれ、すとんと日本の沼津あたりの海岸に落されて、ふと、この山を見つけても、そんなに驚嘆しないだろう。ニッポンのフジヤマを、あらかじめ憧れているからこそ、ワンダフルなのであって、そうでなくて、そのような俗な宣伝を、一さい知らず、そぼく 素朴な、じゆんぱい 純粹の、うつろな心に、果して、うた どれだけ訴え得るか、そのことになる、多少、心細い山である。低い。裾のひろがっている割に、低い。あれくらい裾を持つている山ならば、少なくとも、もう一・五倍、高くなければいけない。

じゆんこくしや 十国峠から見た富士だけは、高かった。あれは、よかった。はじめ、雲のために、いただきが見えず、私は、その裾の勾配から判断して、たぶん、あそこあたりが、いただきであろうと、雲の一点にしろしをつけて、そのうちに、雲が切れて、見ると、ちがった。私が、あらかじめ印をつけて置いたところより、その倍も高いところに、青い頂きが、すつと見えた。おどろいた、というよりも私は、へんにくすぐったく へんにくすぐったく、げらげら笑った。やっていやがる、と思った。人は、完全のたのもしさに接すると、まず、

だらしくなくげらげら笑うものらしい。全身のネジが、他愛なくゆるんで、これ 之はおかしな言いかたであるが、おびも 帯紐といて笑うといったような感じである。諸君が、もし恋人と逢って、逢ったとたんに、恋人がげらげら笑い出したら、けいご 慶祝である。必ず、恋人の非礼をとがめてはならぬ。恋人は、君に逢って、君の完全のたのもしさを、全身に浴びているのだ。

東京の、アパートの窓から見る富士は、くるしい。冬には、はつきり、よく見える。小さい、真白い三角が、地平線にちょこんと出ていて、それが富士だ。なんのことはない、クリスマス飾り菓子である。しかも左のほうに、肩が傾いて心細く、船尾のほうからだんだん沈没しかけてゆく軍艦の姿に似ている。② 三年まえの冬、私は或る人から、意外の事実を打ち明けられ、途方に暮れた。その夜、アパートの一室で、ひとりて、がぶがぶ酒のんだ。一睡もせず、酒のんだ。あかつき、小用に立って、アパートの便所の金網張られた四角い窓から、富士が見えた。小さく、真白で、左のほうにちょつと傾いて、あの富士を忘れない。窓の下のアスファルト路を、さかなやの自転車が疾駆し、おう、けさは、やけに富士がはつきり見えるじゃねえか、めっぽう寒いや、など**呟**きのこして、私は、暗い便所の中に立ちつくし、窓の金網撫でながら、じめじめ泣いて、あんな思いは、二度と繰り返したくない。

注 広重、北斎 江戸時代後期の浮世絵師。文晁 江戸時代後期の画家。

慶祝 Ⅱ よろこび祝うこと。

問1 この文章の第一段落と第二段落以降では、富士山の描き方が異なっています。どのように異なっているのかを考えて書きなさい。

第一段落では、

それに対して第二段落以降では、


問2 文中の①「へんにくすぐったく、げらげら笑った」のはなぜですか。二十五字以上、三十五字以内で説明しなさい。


問3 第三段落の②「三年まえの冬」から段落末までは、どのような効果をもたらしていると思いますか。「三年まえの冬」以降がない場合とある場合の富士山から感じられることを、違いが分かるようにそれぞれ書きなさい。

②以降がない場合…

②以降がある場合…


問4 この文章を読んで印象に残った表現を引用して、その部分から何が感じられるのかを考えて書きなさい。

(例)「富士の頂角、広重のく南北は百十七度である」↓数値ではっきり示されているので、絵の富士山の頂角と実際の富士山の頂角の違いがよくわかる。


《大切なこと》

- 文章の構成や展開、表現の仕方について分析し、表現の効果について考える。
- 書き手のものの見方や考え方について自分の考えをもつ。

# 大問1～3の出題の趣旨、正答

Ⅰ P 29・30

## 1 出題の趣旨

○ 資料を提示して発表を行うことで、発表内容を効果的に伝えることができる。その発表が何を目的としているかによって、効果的な資料も異なってくる。複数人での発表の場合は、資料の選択において自他の目的の異同を認識した上でなんらかの共通目的を共有しておく必要がある。その過程を学習するための出題である。

## 2 正答について

### 問1

○ 正答

A (例) 歌詞にうたわれているものについての正確な情報

B (例) 歌詞にうたわれている自然の実際の様子

C (例) 歌詞にうたわれているものについてのイメージ

○ 解説

「歌詞の内容をよく知ってもらおう」をどのように解釈するかによって、資料で伝えたいことと使う資料が変わってくる。Aは歌詞ではあまいまいなことに關する正確な情報を与えて理解させることを「よく知ってもらおう」と解釈している。Bの場合は、歌詞の中に描かれる自然や風景を実際に写真で見せ、歌詞に何が書いてあるのかを示して納得させること、Cは歌詞の抽象化された表現を通じて詩を味わうようにイメージを思い浮かべて鑑賞することを「よく知ってもらおう」と解釈している。校歌の

歌詞を「学校に關連した情報の提示」「学校をめぐる風景の描写」「学校のイメージ」のいずれと捉えるかが異なっているのである。(第2学年 A話すこと・聞くこと(1)オ)

### 問2

○ 正答 (例)

「中学校から見えるZ平野とZ川の写真」、「中学校から見えるZ山の写真」、「学校のシンボルである校門横の桜の木の写真」の三つの資料を使って、「歌詞にうたわれている自然の実際の様子」を伝えたいです。小学生に学校紹介の一部として校歌を紹介する場合なので、小学生に分かりやすいかどうかを優先すべきだと思っからです。それに、実際に歌詞にうたわれている風景を見せることで、歌詞の内容の理解を助けると考えられるからです。

○ 解説

小学生を相手に、学校紹介の一環として校歌を紹介するという状況を考えると、校歌の歌詞に何が書かれているのかを分かりやすく示すことを優先するのが妥当。この場合、遠山さんと木村さんが選んでいた、歌詞にある自然や風景を撮影した写真を挙げればよい。「学び励めよ」の風景である授業中の写真を選ぶことも考えられる。

なお、理由が理由として成立しており、適切な資料を挙げることでできていれば、その他の意見でもよい。(第2学年 A話すこと・聞くこと(1)ウ)



1 出題の趣旨

○ 新聞の社説で同じ題材を扱っていても、何を重視し、どのようなことを主張するのは、新聞によって異なる。複数の社説を読み比べて共通点と相違点を整理し、その上で意見をまとめる練習問題として出題した。

2 正答について

問1

○ 正答(例)

神戸新聞	高知新聞
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保険への加入</li> <li>・規制強化</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">(ルール)の明確化、指導の徹底</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車の安全確保策</li> <li>・自転車専用道や自転車レーンの整備</li> <li>・安全なまちづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保険への加入</li> <li>・交通ルールの徹底</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">安全意識を高める</div>

○ 解説

同じ題材を同じ時期に扱った社説でも、必ずしも同じ主張をしているとは限らない。社説ごとに、主張や重視している点に異同があることに注目して、挙げられている提言を指摘できていけばよい。また、矢印などの記号を用いて情報と情報との関係を示せていけばよい。(第2学年(2)情報の扱い方に関する事項イ、B書くこと(1)ア)

問2

○ 正答(例)

○ 歩道でスピードを出したり、横断歩道で信号を無視したりする自転車とぶつかりそうになることがよくあって、危ないと思っていた。こうした自転車は交通ルールを守っていないが、もしかするとルールを知らないのである。だから、交通ルールの知識を徹底することが、自転車の事故を減らすために重要だと考える。

○ 解説

社説から読み取った対策を利用して、自分の今いる環境で重要だと思われる対策をまとめることができていることが望ましい。社説で挙げられていない対策であっても、自分の体験をふまえた上で書くことができている。 (第2学年 B書くこと(1)イ)

1 出題の趣旨

文章から登場人物の言動の理由を読み取ることは、内容を理解する上で重要である。また文章中の表現上の特徴とそこから受ける印象の関連を発見し、考えることは、今後文章を読んだり書いたりする上で重要な経験となるであろう。これらについて練習できる問題として出題した。

2 正答について

問1

○ 正答

(例) (第一段落では) 仰角や高さについて絵画の富士山と実際の富士山を対比させ、実際の富士山の低さを印象付けている。

(それに対して第二段落以降では) 「私」が見た経験に基づいた富士山を、そのときの状況を踏まえて描き、それぞれの富士山の違いを際立たせている。

○ 解説

第一段落に描かれているのは「私」の見た富士山ではないが、第二段落以降は「私」の経験に基づいて描かれた富士山であるという点を読み取れていればよい。(第2学年 C読むこと(1)イ)

問2

○ 正答

(例) 予想よりもずっと高かった富士山に、おどろきつつたのもしきを感じたから。

○ 解説

「げらげら笑う」理由は、傍線部の後の「人は、完全のたのもしきに接すると、まず、だらしなくげらげら笑うものらしい。」にある。「たのもしき」に出会ったから「げらげら笑う」のである。その「たのもしき」を感じたのは予想外に高い富士山を見ておどろいた時であった。「思ったより高い富士山」に「おどろき」つつ「たのもしきを感じた」というポイントを押さえなければ正答とする。(第2学年 C読むこと(1)イ)

問3

○ 正答 (例)

(②)以降がない場合(…)東京のアパートから見る富士が単に小さいことしか感じられない。

(②)以降がある場合(…)アパートから見る富士と、途方に暮れてじめじめ泣いたという「二度と繰り返したくない」思い出が結び付けられて、ただ小さく見えるだけでなく、絶望的で悲観的な感じが伝わってくる。

○ 解説

思い出と風景が結び付けられることで、印象に差が生じていることに着目して、表現の効果を考えさせる問題。受ける印象については、書かれている思い出と矛盾しない範囲で広く認める。(第2学年 C読むこと(1)エ)

問4

○ 正答 (例)

・「十国峠から見た富士だけは、高かった」「東京の、アパートの窓から見る富士は、くるしい」↓どこから見る富士山がどのように見えているのかがまず示されてから、その富士を見た経験に入っていく、印象と経験を重ね合わせることで、それぞれの富士が印象深く感じられる。

・「ひとりで、がぶがぶ酒のんだ。一睡もせず、酒のんだ」↓七五調のリズミカルな表現を入れることで、一晚中ひたすら酒を飲み続けた様子がよく感じられる。

・「窓の下のアスファルト路を、あんな思いは、二度と繰り返したくない」↓非常に長い一文に様々な内容が含まれ、最後に「あんな思いは、二度と繰り返したくない」と結ばれている。ここから「繰り返したくない」という気持ちの強さが感じられる。

○ 解説

表現とその表現から受ける感じについては、例以外にも考えられる。表現が与える効果を発見し、考える力を付けるための経験を持たせたい。(第2学年 C読むこと(1)イ)

第二学年「めあて」話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較する。

( ) (組) ( ) (番 名前) ( )

Ⅰ 池田さんは、住んでいる市の中学生意見発表会で、次の意見を発表しました。この発表を聞いたとして、次の問いに答えなさい。

池田さんの発表

この間バスに乗っていたときに、途中からおばあさんが乗ってきました。席が全部うまっていたので、おばあさんは手すりにつかまって立っていました。おばあさんの前の席は、優先席ではない普通の席で、若い男の人が座っていました。男の人はおばあさんには気がつきましたが、席をゆずろうとはしませんでした。

これを見て、わたしは、電車やバスに優先席はないほうがいいのではないかと思います。

たしかに優先席のおかげでお年寄りや体の不自由な人が座りやすくなっています。わたしの父が足を骨折して、松葉杖まつばづえでバスに乗ったときに、優先席があることでずいぶん助かったそうです。

けれども、優先席があることで、かえって優先席以外の席はゆずらなくていい、と思う人が多くなっているのではないのでしょうか。優先席をなくして、立っているのがつらそうな人がいるときには、どの席であってもゆずるべきだという考えが広がれば、優先席でないからゆずらなくていいという考えがなくなつて、席を必要としている人が座れるようになるのではないのでしょうか。

だからわたしは、電車やバスに優先席はいららないと思います。

問1 池田さんの発表内容を次のようにまとめました。( ) ( )にあては

まるように、池田さんの発表から抜き出して書きなさい。

- 池田さんはまず自分の経験を話して、それを意見につなげている。
- 自分の意見と反対の立場の意見を「( ) ( )」と言って認めている。

- その上で、その意見に対して「( ) ( )」と反論している。
- 池田さんが一番主張したのは「( ) ( ) ( )」ということである。

①	②	③
---	---	---

問2 河合さんは池田さんの発表を聞いて、池田さんの主張に反論しました。なお、③には問1の③が入ります。

河合さんの反論

池田さんの「( ) ( ) ( )」という意見に反対します。なぜなら( ) ( ) ( )からです。

河合さんの反論が、池田さんの意見に対する反論として、聞いている人たちが納得してくれるようになるには、どのように反対の根拠を述べればいいですか。反対理由( ) ( ) ( )の部分を考えて書きなさい。

--	--	--

第二学年「めあて」相手の立場や考えを尊重しながら話し合い、自分の考えを広げる。

( ) (組) ( ) (番 名前) ( )

2 N中学校二年一組では、グループでの話し合い活動をしています。今日の話し合いのテーマは「下級生は上級生に対して敬語を使わなくてはならないか」です。

鈴木さん 「敬語は使うべきだと思います。中学生として、上級生に敬語を使うのは常識だからです。」

田中さん1 「常識がよくわかりませんが、一年生が対等に話してくると不愉快なので、ぼくは、敬語をつかわなくてはならないと思います。」

島田さん1 「田中さんは、すごく仲のいい下級生でも、対等に話してくると不愉快ですか。」

田中さん2 「そうじゃないこともあります。」

村井さん1 「ぼくは、敬語を使わなくてもいいと思います。敬語は堅苦しいし、敬語が正しいかどうかいちいち考えていたら、話なんかできません。」

島田さん2 「目上の人にちゃんとしないと失礼なときもあります。だから、正しい敬語を考えなくても使えるようにしておくべきです。」

村井さん2 「島田さんは鈴木さんと同じ考えですか。」

島田さん3 「わたしは、相手との間柄によって使い分けたいと思います。さっきの田中さんのように、すごく親しかったら、対等に話さなくても不愉快でなくなることもあります。」

田中さん3 「島田さんの質問で、自分の意見について考えたんですけど、『対等に話してくると不愉快』というぼくの根拠は、いつでも通用するとは限らないと思いました。仲のいい一年生が敬語で話してきたら、ちょっと距離を置かれたみたいで寂しくなります。でも、委員会みたいなどころで対等に話されるのはいやです。だから、相手と自分

の距離や、お互いが求める接し方など、話す場面を踏まえて、敬語を使うかどうかを決めていけばいいと思います。」

問1 田中さんは島田さんの発言を聞いて、意見を修正しました。修正したあとの田中さんの意見と島田さんの意見は似ていますが、違う点もあります。違う点を「島田さんは、。それに対して田中さんは、。」の形で書きなさい。

島田さんは、  
それに対して田中さんは、

問2 鈴木さんはみんなの発言を聞いて、「常識だから」という自分の意見の根拠を見直すことにしました。あなたなら、意見をどのように修正しますか。修正する上で参考にした意見と、修正した意見を書きなさい。ただし、参考にした意見は、誰の何番目の発言であるかを明らかにし、修正した意見は、「敬語を使うべきだと思います。」に続くように書くこと。参考にした意見

修正した意見

--	--

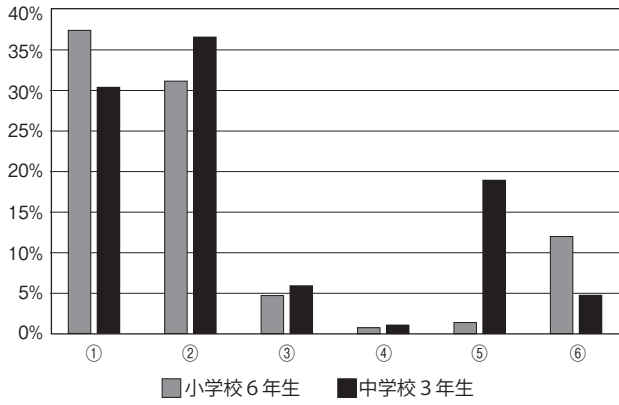
敬語を使うべきだと思います。

第二学年【めあて】多様な考えがでる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書く。

( ) (組) ( ) (番 名前) ( )

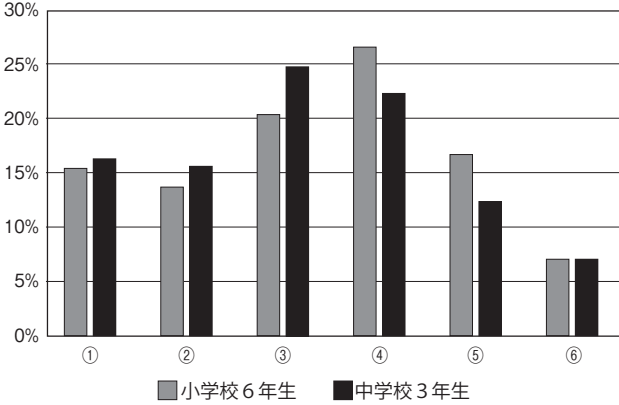
3 次の二つのグラフは、令和三年度に行われた全国学力・学習状況調査の質問紙調査結果の一部です。これらを読んで、後の問いに答えなさい。

Q1 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。



- ① きちんと守っている
- ② だいたい守っている
- ③ あまり守っていない
- ④ 守っていない
- ⑤ 携帯電話・スマートフォンやコンピュータは持っているが約束はない
- ⑥ 携帯電話・スマートフォンやコンピュータを持っていない

Q2 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）をしますか。



- ① 4時間以上
- ② 3時間以上、4時間より少ない
- ③ 2時間以上、3時間より少ない
- ④ 1時間以上、2時間より少ない
- ⑤ 1時間より少ない
- ⑥ 全くしない

問1 Q1、Q2のグラフから、それぞれどのようなことが分かりますか。グラフごとに特徴的なところを一つ挙げなさい。

Q2	
Q1	

問2 グラフから分かったことを必ず一つは使って、調査結果についてのあなたの考えを書きなさい。分かったことは複数使ってもかまいません。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

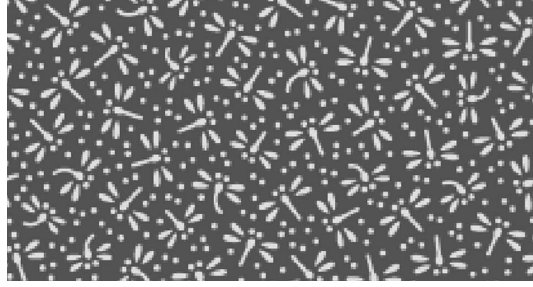
## 第二学年【めあて】

書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、読みやすくわかりやすい文章にする。

( ) ( ) 組 ( ) ( ) 番 名前 ( )

4 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

齊藤さんは、学級新聞の「日本の文様」というコーナーを担当し、日本の伝統文様について紹介する記事を一五〇字で書くことになりました。今回取り上げる「勝虫文様」について、調べたことをメモにして書き出し、そのメモに基づいて紹介文の下書きを書いてみました。



勝虫文様

### 調べたことのメモ

- ・トンボを使った文様（勝虫リトンボの別名）
- ・主に武士が好んで、武具の装飾に使った
- ・現在も、剣道や弓道などの武道で好まれている
- ・トンボは昔から縁起がいい虫だった
- ・勝虫といわれる理由（主な説）
  - ↓ 前にはか進まない
  - ↓ 後退や撤退をしない姿を連想
  - 飛んで強いあごで害虫を捕食する
  - ↓ 勇ましさ、勝利を連想
- ・「古事記」の雄略天皇の歌（狩に出かけた雄略天皇の腕を刺したアブをトンボがくわえて飛び去ったという内容）
  - ↓ 古くから勝利と結びつけられていた

### 齊藤さんの紹介文の下書き

勝虫文様は、主に武士が好んで縁起物として武具の装飾に使ってきました。勝虫とはトンボの別名です。「古事記」に書かれている、雄略天皇の詠んだ歌に、狩に出かけた天皇の腕を刺したアブをトンボがくわえて飛び去ったというものがあり、昔から勝利と結びつく虫として縁起がよいとされてきたことが分かります。現在でも、剣道や弓道などの武道で広く使われています。

問1 齊藤さんが書いた紹介文の下書きの文字数は、一七〇字でした。

一五〇字におさめるためにけずったほうがよい部分を指摘した上で、なぜその部分をけずったほうがよいのか、理由を説明しなさい。

けずる部分

けずる理由

問2 問1で指摘した部分を踏まえて、齊藤さんの紹介文を一二〇字以上、

一五〇字以内で書き直しなさい。（句読点等は字数に数えること。）

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

第二学年「めあて」登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てる。

( ) (組) ( ) (番) (名前) ( )

5 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

怒りっぽい僧正

良覚僧正りょうかくそうじょうという方は、とても怒りっぽい人だったそうだ。僧正の住まいの建物のわきに、大きな榎えの木があったので、人々は僧正を「榎の木の僧正」というあだ名で呼んだ。僧正はこのようなあだ名はけしからんと言って、この木をお切りになってしまった。切った榎の木のきりくいが残っていたので、人々は今度は「きりくいの僧正」と呼んだ。僧正はますます腹を立てて、切り株を掘り出して捨ててしまったところ、その跡が大きな掘り穴になり、水がたままって堀池ほりいけができた。そこで人々は僧正を「堀池の僧正」と呼んだ。

(出典 『徒然草』第四十五段)

注 僧正＝最高位の僧。

榎の木＝ニレ科の落葉高木。大木になることが多い。きりくい＝切り株。

この物語の中で人々がつけた僧正のあだ名について、遠藤さんと森川さんが話し合っています。

森川：「きりくいの僧正」とか「堀池の僧正」というあだ名は、最初の「榎の木の木の僧正」とはちよつと違う気がするんだ。

遠藤：どういうところが？

森川：「榎の木の僧正」は、付けられたあだ名だけど、あとの二つは、付けられたあだ名だということだよ。

遠藤：そういえばそうね。あとの二つは、怒りっぽい僧正を、もつと怒らせようとしているのかな。

森川：そうかも知れないし、僧正なんて偉い人が、人々のあだ名にいちいち

反応して、せっかく大きく育った木を切り倒してしまったことにあきれているのかも知れないよ。

遠藤：このあと僧正は、堀池を埋めたのかな、それとも放っておいたのかな。森川：実は、この話をもとにして作られたアニメーションがあるんだ。その中ではこの続きがあつて、僧正は堀池を埋めて「この寺の僧正の名は良覚である。他の名で呼んではならない」という立て札を立てたんだ。

問1 「榎の木の僧正」と「きりくいの僧正・堀池の僧正」の付けられ方の違いについて、森川さんの発言の空欄くうらんを埋めて説明しなさい。

榎の木の僧正…

きりくいの僧正・堀池の僧正…

問2 森川さんが紹介したアニメーションの中で、僧正はこの後どう呼ばれることになったと考えられますか。僧正のあだ名と、そう考えた理由を書きなさい。

僧正のあだ名…

理由…

第二学年「めあて」説明や評論などの文章を読み、内容や表現の仕方について自分の考えを述べる。

( ) (組) ( ) (番号前) ( )

6 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。なお、段落頭の数字は段落番号です。

早春——空白の季節

1 春の芽ぶきととっても、それは木の種類によって非常にまちまちです。志賀高原の自然教育園では、雪がとけ積雪計のめもりがゼロになる日は、二〇年間の気象記録を平均すると、五月五日になります。でも標高一六〇〇メートルの森の中はまだまだ残雪が多く、気温も低いので木々は芽ぶきません。「雪が消えると即もえるような新緑」という北国のイメージとはちがって、さんさんと明るい五月の陽光がふりそそぐというのに、木々はまだ枯れたままといい「まことに奇妙な季節」がしばらく続きます。これが高原の春の特徴です。もう冬ではない、でもまだ春でもないという、ほんとうに「空白の季節」がここにはあるのです。

2 それでも、水辺ではミズバショウの白い花が咲き、木陰ではコヨウラクツツジが赤く小さな花を開きます。雪の消えた道わきでは、イワナシやウスギオウレンなど早春の花を見つけることができますが、森の景色はまだ冬枯れのままです。

3 突然に、明るい林内にあざやかな緑の若葉が目だちはじめます。ヒロハツリバナの新緑です。オオカメノキの白い大きな花も咲きだし、強烈な赤紫色にムラサキヤシオオツツジの花がこんもりと咲きほこります。赤、白、緑のあざやかな色彩が明るい芽ぶき前の落葉樹の林内のあちこちで目だちはじめると、やがてシラカンバの樹上がぼっぼつと新緑に芽ぶいてきます。

4 シラカンバはあまり大きく枝を伸ばさないので、木の上方にまとまった緑を展開するだけです。しかも、ここでは、ダケカンバにまじって点在するだけなので、冬枯れの森のあちこちに緑のかたまりがぼわぼわと浮いているように見えます。このほか高原の森では、植林されたカラマツも早く芽ぶく種類で、その新緑はともあざやかです。

(渡辺隆一『森の季節学』より)

問1 「空白の季節」とありますが、志賀高原がこの状態になるのはなぜですか。「五月」「標高」「木々」の三つの語を使って、理由を説明しなさい。

--	--	--	--	--

問2 第2段落以降(段落番号2〜4)について、特徴のある表現を抜き出して、どのような効果があるのか、例にならって説明しなさい。

例 「まちまちです」のような「です・ます調」の文体や「でも」のような話し言葉を使うことで、読者に語りかけるような効果がある。

--	--	--	--	--



小問1～6の正答

【解答例】

1 P 38

問1

- ① たしかに優先席のおかげでお年寄りや体の不自由な人が座りやすくなっています。
- ② けれども、優先席があることで、かえって優先席以外の席はゆずらなくていい、と思う人が多くなっているのではないのでしょうか。
- ③ 電車やバスに優先席はいらない
- (別解「電車やバスに優先席はないほうがいい」)

問2 (例)

優先席をなくしたからといって、どの席であつてもゆずるべきだという考えが広がるとは限らない

【解答例】

2 P 39

問1 (例)

(島田さんは、) 相手との間柄だけに注目して、それに合わせて使い分けるべきだと考えている。

(それに対して田中さんは、) 間柄だけでなく、お互いに求める接し方や場面を踏まえて敬語を使い分けるべきだと考えている。

問2 (例)

参考にした意見

田中さん3

修正した意見

敬語は、相手への思いや相手と自分との間柄を示す言葉なので、必要

なときには(敬語を使うべきだと思います。)

※指定した発言を踏まえて敬語を使う根拠を示せていれば正答とする。

【解答例】

3 P 40

問1 (例)

(Q1) 「携帯電話・スマートフォンやコンピュータは持っているが、約束はない」という回答については、小学校6年生と中学校3年生とで差が大きい。

(Q2) 「3時間以上」という回答が、小学校6年生、中学校3年生ともに全体の約三割を占めている。

※どちらのグラフでも、割合の高いところや差の大きいところなど、特徴となる部分を具体的に示すことができているならば正答とする。

問2 (例)

普段、テレビゲームを一日当たり3時間以上する小学校6年生や中学校3年生が、全体の約三割もいる。私もついだからと長時間テレビゲームをしてしまい、勉強や睡眠などの時間が少なくなってしまう日がある。一日は二十四時間しかないのだから、限りある時間を有意義に使えるように、時間の使い方を見直していきたいと思う。

※問1で挙げたことを使い、根拠のある意見が書けていれば正答とする。

【解答例】

4 P 41

問1 (例)

(けずる部分) 「古事記」の雄略天皇の歌の内容  
(けずる理由) 「古くからトンボが勝利と結び付けられてきた」ことを書けば、その具体例である歌の内容は必要ないから。

問2 (例)

勝虫とはトンボの別名です。前にしか進まず、飛んで強いあごで害虫を捕食する姿が勇ましきや勝利を連想させることから、特に武士にとつて縁起のいい虫とされてきました。この勝虫をあしらった勝虫文様は、縁起物として武具の装飾に使われてきました。現在でも、剣道や弓道などの武道で広く使われています。(二四七字)

【解答例】

5 P 42

問1 (例)

(榎の木の僧正…) 家の近くにたまたまあった目印にちなんで  
(きりくいの僧正・堀池の僧正…) 怒った僧正がしたことにちなんで

問2 (例)

(僧正のあだ名…) 立て札の僧正  
(理由…) これまでのあだ名と同じように、怒りっぽい僧正の怒りに反応したあだ名のほうが僧正に似つかわしいと思えるから。

(別解例)

(僧正のあだ名…) 良覚僧正  
(理由…) 立て札を読んだ人々が、僧正がどう呼んでもらいたいと思っ  
ているのかに気付いたから。

【解答例】

6 P 43

問1 (例)

標高が高く、残雪が多くて気温も低いので、五月になっても木々が芽を出さずに枯れたままであるから。

問2 (例)

冬枯れの森が芽ぶいていく様子を「白い花」「赤く小さな花」「あざやかな緑の若葉」「白い大きな花」「強烈な赤紫色」「赤、白、緑のあざやかな色彩」「緑のかたまり」というように、森の中の色の変化を通じて描くことで、強い印象を与える効果がある。

(別解例)

花が咲く様子を「こんもり」、木が芽ぶく様子を「ぼっぼっ」、芽ぶいた新緑が樹上にかたまっている様子を「ぼわぼわ」というように擬態語を使って風景を思い浮かべやすくする効果がある。